



中学生にだっこされて赤ちゃんたちはご機嫌です



中学生と赤ちゃんのふれあい教室 こんにちは赤ちゃん

8月4日(金)、保健センターで板倉中学校の生徒と赤ちゃんのふれあい教室が開かれました。中学生23名、お母さんと赤ちゃんは14組参加しました。中学生の中には、男子生徒も6名参加していました。

板中3年生の大山愛紗美さんは「最初はすごく不安だったけど、すごく楽しかったです。将来は私もお母さんになりたいです」と話してくれました。

地域づくり講演会 人口減少社会を考える

8月22日(火)、中央公民館で群馬県企画部長の向田忠正氏を講師に招き、地域づくり講演会が開催されました。向田氏は、板倉町の将来人口推計や、人口の減少と高齢化により各方面から生じる影響などをわかりやすく解説し、これからの地域づくりでは量よりも質を高めていくことが求められると話しました。会場には、220人が来場し、熱心に講演に耳を傾けていました。



聴衆に向かって講演する向田さん

ムシキングすもう大会 それいけ! はっけよい

7月30日(日)、わたらせ自然館で「ムシキングすもう大会」が行われました。5歳から小学校5年生までの16名の子どもが集まり、自慢のカブトムシやクワガタに声援を送っていました。今回は島崎悠生くん(朝日野)と北川巧真くん(太田市)の2人が優勝となり、島崎くんは「優勝してうれしかった。ご褒美にゼリーをカブトムシにあげたい。来年が楽しみ」と話していました。



土俵の上の闘いを見守る出場者たち

2日間の楽しい思い出ができました



新潟板倉・群馬板倉子ども会交流会 いたくら同士の交流

7月29日(土)・30日(日)、新潟板倉・群馬板倉子ども会交流会が行われました。この催しは、平成2年から続く歴史ある「いたくら同士」の相互交流で、今年度は群馬板倉の子ども達が新潟県上越市板倉区を訪れる形での開催となりました。子どもたちは、信越トレイル散策、パーベキューやレクリエーションなど、初日から盛りだくさんのプログラムで交流を深めました。

神輿のお練りでまつりの盛り上がりも最高潮に



第33回板倉まつり 真夏の祭典

8月5日(土)、板倉東洋大前駅西口南側広場で、第33回板倉まつりが行われました。メインステージではポスターコンクールの表彰の後、各種団体の発表に多くの人が見入り、ミニステージは来場者との距離も近く和やかな雰囲気でした。パレードでは山車や神輿などがまつりを盛り上げ、フィナーレを迎えると、まつりは盛況のうちに終了しました。

稲妻太鼓愛好会による和太鼓演奏



板倉スポーツクラブLC-cat'sによるダンスパフォーマンス



のど自慢コンテスト優勝の長谷川奈美さん



さくら会による民舞